

こまがね

市議会だより

2024.7.20

6月定例会

No. 102

赤穂南小学校
6年生の皆さん



ようこそ議場へ



赤穂東小学校
6年生の皆さん

13人が登壇!
一般質問

P6～P13

議会広報モニター会議 P2～3
委員会審査報告 P4
議案等審議結果 P5
議場見学の様子 P14
行政視察・意見交換会報告 P15
ツキニミーティングはじめました P16

信州
駒ヶ根
SHINSHU KOMAGANE



市議会
ホームページ

新たに17人の議会広報モニターを委嘱！

もっと読みたいくなる もっとわかりやすい議会だより



市議会では、より多くの市民の皆さまに「市議会だより」を読んでもらうよう、議会広報モニターを委嘱しています。

5月18日に開催した「議会広報モニター会議」において、モニターの皆さんからいただいたご意見をご紹介します。

議会だよりを通して、多くの方に、市議会や市政に興味を持っていただけるよう2年間頑張ります！



井上奈々さん



倉田優孝さん



唐澤由美さん



小澤雅樹さん



清水明子さん



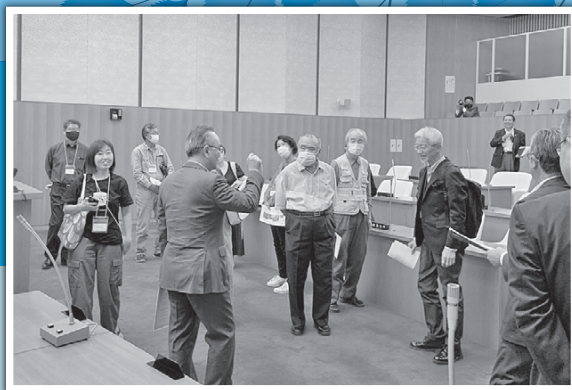
太田政代さん



宮入一雄さん

市議会だよりについて

- ・ 情報量が多く、字が小さくて読みにくい。見たいという意識付けが必要。見出しで分かりやすく目に入るように工夫を。
- ・ 一般質問した結果、議員としてどのような判断をされたのか、その後どうなったのかなどが掲載されているとわかりやすい。
- ・ 一般質問ページでは、QRコードから動画が見れるよう配慮されているが、高齢者にとってはハードルが高い。また、質問と答弁のやり取りのみを掲載するのではなく、質問後の議員の感想などを掲載するとおもしろいのでは。
- ・ 一般質問ページの「問」部分の網掛けを青色に変えてみてはどうか。(弱視の人には青色が見やすいと言われている。)



議会活動について

モニター会議の詳細はこちらから →



- ・ 議会の年間スケジュールを掲載してほしい。
- ・ 議会活動は敷居が高いと感じており、少しひとごとになってしまっている。
- ・ 若い人の意見を取り入れる工夫を。
- ・ 各地区に議員が出向き、市民の声を聴く機会をつくってほしい。
- ・ 定例会の際の一般質問を、いつ・どこで・誰がやるかがわからない。情報提供の工夫を。
- ・ 市議会は関わりのない世界だと思っていたが、あることで議員との関わりができ、身近に感じることができた。



柳澤みゆきさん



赤羽明人さん



下村ひろ子さん



清水麻美さん

市政について

- ・ 進学などで駒ヶ根を離れた子どもが「戻ってきたい」「住みたい」と思える駒ヶ根にしてほしい。男女比で見ると、Uターンする女性は少ない。
- ・ IT関係の仕事をしているが、Wi-Fiが使える場所が少ない。
- ・ 高校生などが自習したり勉強する場所が少ない。
- ・ 駒ヶ根市のLINE情報はタイムリーでありがたい。



佐々木時男さん



倉田千佳さん

委員会審査報告

6月定例会では、6月21・24・27日に常任委員会を開催し、市長部局より提案された条例改正案や一般会計補正予算案などの議案を審査しました。

審査した議案の主な内容と質疑内容をお知らせします。(最終的な議決結果は、P5の議案等審議結果をご覧ください。)



総務産業委員会

委員長：竹村知子 副委員長：池田幸代
委員：小林敏夫、今堀雷三、福澤美香、押田慶一、藤井邦彦

①機能別消防団員として消防団OBが活動可能に

機能別消防団員として、消防団OBが豊富な経験を生かし、消防団活動に携わることが可能になります。機能別消防団は、火災現場などで活動をする隊と主に広報活動を行う広報隊の2つの支援隊が結成される予定です。

問 機能別消防団員の年齢制限は。また、何人程度を想定しているか。

答 概ね50歳前後を予定している。現在、定員500人に対し455人であるため、定員に満たない残り50人程度について、機能別消防団員で補う想定である。

問 機能別消防団員の募集方法は。

答 各分団の退団者に声をかけて募集している状況であり、現在、10数名の方が活動いただける予定である。



＜議案第37号 駒ヶ根市特別職の職員等の給与に関する条例及び駒ヶ根市消防団条例の一部を改正する条例＞

②自治体ライドシェアの実証実験に着手

新たな公共交通手段を探るため、国の補助金を活用し、自家用車を使用し輸送を提供する「自治体ライドシェア」の実証実験に着手します。

自治体ライドシェアとは	地方自治体が運営主体となり、公共交通が十分提供されていない地域を補完するためのサービス
利用方法	専用アプリ
使用車両	自家用車
利用料金	タクシーの約8割を目安(協力費として2割上乘せ)
実証実験期間	令和7年1月～2月

問 公共交通利用者は高齢者が多いと思われるが、アプリでの予約を考えると、利用者が少ないのではと想定する。高齢者により良く利用いただくには、説明会などが必要だと思うが、その点はどのように考えているか。

答 利用者の範囲や課題抽出、説明会の開催など、事業構築する中で検討し、実証実験を進めていきたい。



＜議案第41号 令和6年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第3号)1,220万円＞

教育民生建設委員会

委員長：小原晃一 副委員長：中島和彦
委員：竹上陽子、竹村誉、氣賀澤葉子、中山万宝、宮下稔

①駒ヶ根市こども計画(仮称)の策定

新たに国が求める『市町村こども計画』とするため、策定作業を進めてきた従来型の「第3期駒ヶ根市子ども・子育て支援事業計画」に、より幅広い若者を支援する計画を追加します。

問 策定中の「第3期駒ヶ根市子ども・子育て支援事業計画」に、「子ども・若者育成支援推進施策」を追加すれば、「駒ヶ根市こども計画(仮称)」として認められるのか。

答 「子ども・若者育成支援推進施策」を加えることで「駒ヶ根市こども計画(仮称)」とすることができる。そこで、中学生から39歳までの子ども・若者へのアンケート調査を追加で実施し計画に反映します。



＜議案第39号 令和6年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第2号)297万円＞

②住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金を給付

物価高騰の影響が大きい低所得世帯の負担を軽減するため、令和6年度に新たに住民税非課税となった世帯と均等割のみ課税となった世帯に給付金を支給します。また、該当世帯にこどもがいる場合は、こども加算を支給します。

対象者	①新たに令和6年度住民税非課税又は均等割のみ課税となった世帯 1世帯あたり10万円
	②こども加算(基準日において①と同一世帯で18歳以下の児童が対象) 児童1人あたり5万円
実施期間	令和6年7月～令和7年3月

問 該当世帯が自ら申請を行うのか。また、該当世帯からの回答がない場合は、給付金が支給されないのか。

答 市では給付対象者を把握している。対象者に確認書を送付し返答してもらうかたち。返答がない場合は支給されない。

＜議案第39号 令和6年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第2号)2,636万円＞

令和6年 第2回 駒ヶ根市議会定例会 議案等審議結果

● 市長提出議案

議案等番号	議 案 等 件 名	採決結果	賛否の多少	付託委員会
議案第36号	駒ヶ根市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第37号	駒ヶ根市特別職の職員等の給与に関する条例及び駒ヶ根市消防団条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第38号	駒ヶ根市公共下水道条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第39号	令和6年度駒ヶ根市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致	総務産業 ※教育民生建設
議案第40号	令和6年度駒ヶ根市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第41号	令和6年度駒ヶ根市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	全会一致	総務産業 ※教育民生建設

※印は関連審査を行った委員会

● 選任の同意

議案等番号	議 案 等 件 名	採決結果	賛否の多少
議案第30号	駒ヶ根市公平委員会委員の選任について（肥野みさを氏 再任）	原案同意	全会一致
議案第31号	駒ヶ根市監査委員の選任について（下平昭治氏 再任）	原案同意	全会一致

● 専決処分の承認

議案等番号	議 案 等 件 名	採決結果	賛否の多少
議案第32号	駒ヶ根市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第33号	駒ヶ根市都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第34号	駒ヶ根市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第35号	令和5年度駒ヶ根市一般会計補正予算（第15号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致

● 議員提出議案

議案等番号	議 案 等 件 名	採決結果	賛否の多少
議 第3号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書	原案可決	全会一致 意見書提出
議 第4号	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」および「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書	原案可決	全会一致 意見書提出
議 第5号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書	原案可決	全会一致 意見書提出
議 第6号	訪問介護費の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書	原案可決	全会一致 意見書提出
議 第7号	駒ヶ根市議会基本条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
議 第8号	駒ヶ根市政治倫理条例	原案可決	全会一致
議 第9号	駒ヶ根市議会議員の請負の状況の公表に関する条例	原案可決	全会一致

● 報 告

議案等番号	議 案 等 件 名	議案等番号	議 案 等 件 名
報告第6号	令和5年度駒ヶ根市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	報告第10号	駒ヶ根市土地開発公社の経営状況を説明する書類について
報告第7号	令和5年度駒ヶ根市公共下水道事業会計継続費繰越計算書の報告について	報告第11号	駒ヶ根高原温泉開発株式会社の経営状況を説明する書類について
報告第8号	令和5年度駒ヶ根市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告第12号	一般財団法人駒ヶ根市給食財団の経営状況を説明する書類について
報告第9号	株式会社エコーシティー・駒ヶ岳の経営状況を説明する書類について	報告第13号	公益財団法人駒ヶ根市文化財団の経営状況を説明する書類について

● 請願・陳情（全会一致で採択されたもの）

議案等番号	議 案 等 件 名	採決結果
請願第1号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める請願【総務産業委員会での審査結果：採択】	議第3号採択によりみなし採択
請願第2号	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書【教育民生建設委員会での審査結果：採択】	議第4号採択によりみなし採択
請願第3号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書【教育民生建設委員会での審査結果：採択】	議第5号採択によりみなし採択
請願第4号	猫の不妊去勢手術助成制度の創設を求める請願【教育民生建設委員会での審査結果：趣旨採択】	趣旨採択
陳情第1号	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書【教育民生建設委員会での審査結果：採択】	議第6号採択によりみなし採択

賛否が分かれた議案等に対する

会派別議員別賛否

賛否が分かれた議案等に対する 会派別議員別賛否		あかつき			至誠会			アルプス		改進黨		創風すずらん			無派	採決結果	
		竹村	小原	今堀	小林	中山	中島	池田	竹村	竹上	小原	宮下	氣賀澤	押田	福澤		藤井
		知子	茂幸	雷三	敏夫	万宝	和彦	幸代	誉	陽子	晃一	稔	葉子	慶一	美香		邦彦
番号	件名	○	－	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	採択 (賛成10 反対4)
議 第10号	国に能登半島地震被災地域に強力かつ集中的な支援の実施を求める意見書【総務産業委員会での審査結果：継続審査】																

○は委員会審査結果に賛成、×は委員会審査結果に反対。なお、議長は賛否同数の場合以外は採決に加わりません。

市政を問う

一般質問

今回、**13人**の議員が
一般質問を行いました!



一般質問

議員が市政について自由に質問することです。質問内容は「通告書」により締切日までに提出します。



詳しくはHPへ

各議員のQRコードからYouTubeの録画動画をご覧くださいことができます。

質問時間は30分

一人当たりの質問時間は30分。答弁時間は含みません。30分を超えて質問することはできません。

※一般質問は、エコシティー・駒ヶ岳でも放送しています。一般質問項目の内容が、全て記事になっているとは限りません。

各議員のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、YouTubeから一般質問の様子が視聴できます。パソコンで視聴される場合は、「駒ヶ根市議会」で検索後、「一般質問録画中継」からご覧ください。(※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。)

- ① QRコードをカメラやアプリなどで読み取ります。(お使いの機種によって操作方法が異なりますのでご注意ください。)



- ② 画面に表示されたURLを選択すると議員の一般質問ページ(YouTubeページ)が表示され動画が始まります。



行政視察や議会広報モニターのご意見などを参考に、今回から、一般質問終了後の感想を掲載します。

一 般 質 問 項 目

宮下 稔

- 超高齢化社会 安心できるまちづくりの処方箋は
- 災害備蓄の考え方と現状、今後は

竹村 誉

- 安全安心な農産物に減農薬米・特別栽培米の推進は
- 妊婦中手当て創出と、保育士不足改善は
- 子どもたちが考えた提案に応え政策・予算化する考えは

竹上 陽子

- 未満児保育受け入れ課題の解消について ● 医療的・発達特性ケア児への支援拡充について ● 義務教育における就学児の費用軽減について ● 自衛隊と市の関わりについて

池田 幸代

- 地域猫活動推進と福祉との連携強化策は
- 保育士待遇改善と雇用環境の底上げは
- 不登校の子の居場所作りと保護者支援は

小原 晃一

- 市民活動総合補償制度の補償実態と市民への周知は
- 豪雨災害対策として農業用水路の検討と今後の施策は
- 教育委員会の権限と責務、現状と課題、体制強化は

竹村 知子

- 犯罪被害者支援等条例の制定は ● 介護職員の人材確保の対策は ● 子どもの権利に関する条例の制定の考えは
- おくやみ窓口設置または書かない窓口などDXへの考えは

押田 慶一

- これからの観光事業の進め方と新たな施策の考えは
- 移住につながる親子ワーケーションの進捗状況は
- 空き家が過去最多、空き家対策のさらなる強化は

中島 和彦

- 「2050カーボンニュートラル宣言」での事業促進は
- 今年7月発行される「新紙幣」に対する市の対応は
- 能登半島地震への義援金、支援金について

中山 万宝

- 地域おこし協力隊の活動実績と支援について
- 病弱・身体虚弱特別学級について
- こども家庭センター設置について

今堀 雷三

- 市道馬住ヶ原線の安全対策について ● こまぐさの湯の利用料について ● 駒ヶ池周辺の樹木について
- 水利組合が管理する水路の不具合について他

福澤 美香

- 竜東開発のコンサルタント提案の内容について

氣賀澤葉子

- 「5歳児すこやか園訪問」の成果を今後に生かすには
- テレワークオフィスKotoの使い方を再考しては
- 現病院の今後について市民意見を聞く予定は

藤井 邦彦

- 学習室やワークスペース新設についての考えは
- 人口減少・少子化対策についての考えは
- 早太郎温泉郷周辺整備に対する考えは



宮下 稔 議員

問

子育て支援センターの利用者負担金は不評。無料化すべき

答

子育て支援の充実に向け、きっずらんどなど来年度より無償化を実施したい



質問動画はこちらから

問 昨年、教育民生建設委員会は公民館親子ひろばに参加している若いお母さんたちと意見交換を行った。子育て支援センターの利用者負担金は不評。無料化すべき。

市長 これまでも検討してきたが、第2期子育て全力応援がスタートしたこともあり、来年度より無償化を実施したい。

問 未満児保育の状況は、需要に対して足りているか。そもそも受け入れ態勢を強化するつもりがあるか。

市長 現状、非常に厳しいことは事実。保育士不足などの課題に引き続き取り組み、需要の高まりに応じていくよう努力する。

問 超高齢化社会を迎える。高齢化の速度は諸計画の想定以上だが、介護保険の運用は安心か。

市長 国の方針を踏まえ、総合事業の拡充、要介護の重度化防止に力を入れ、認定者の増加を最小限に抑えていく。住民の支え合いも重要。

問 各介護サービスの具体的な課題と展望は。

市長 居宅サービスは訪問介護の供給量不足。地域密着型は事業継続。施設サービスは入所定員割れ。総合事業は通所・訪問の利用の伸び悩み。これらの課題の原因はケアマネやヘルパーの高齢化と人材不足なので、人材養成に取り組んでいく。

質問後の感想

若いお母さんたちの声を届けられたことは良かったが、不慮の私的事情により3月議会にできず来年度に先送りになった感あり、残念。未満児保育や介護制度など安心づくりは今後も注視していきたい。



きっずらんど（駅前アルパ3 F）



竹村 昌議員

問

慣行栽培から、より安全安心な減農薬米・特別栽培米を推進していく考えは



質問動画はこちらから

答

除草機の実証実験を行っており、減農薬や有機栽培による米栽培の拡大に繋げる

問 地元の安全・安心な農産物を広め、地産地消の拡充・農業経営を後押しするためにも、慣行栽培から減農薬米・特別栽培米などへの生産を支援し、推進していく考えは。

市長 農薬や化学肥料を減らした付加価値のあるお米への転換は必要。特別栽培や農薬・化学肥料を使わない栽培の研究を進めている。

問 妊婦さんは、妊娠期間、経済的心配も背負って過ごさなければならぬ。出産までの妊娠期間を経済的支援する「妊娠中手当」制度を創設する考えは。

市長 月々の手当は考えていない。出産応援交付金、妊婦健診受診補

助、タクシー券交付を行っており、引き続き必要な支援を実施していく。

問 当市保育業務の課題と現状は、何処が足りておらず、何に問題があると認識しているか。

教育長 保育士不足。特に早朝や延長保育は、朝夕の限られた時間や特殊な勤務時間での保育士確保が難しい現状。保育士不足の解消に向け引き続き人材確保を進める。

問 子どもたちが考えた提案が政策実現し、社会参加を実感できれば主権者意識は高揚する。予算化して応えていく考えは。

市長 次代を担う若者の意見は貴重。事業化できるものは検討する。

質問後の感想

未来を担う若者たちが自己肯定感や権利意識を高めて育つためにも、子ども・若者たちの中で生まれた提案・提言に応えられる自治体として、予算も確保し、当市の主権者を育てる活動に力を入れるべきだ。



除草剤散布に代わる除草機実証実験



竹上 陽子 議員

問

未満児保育受け入れへの課題や保育士不足解消、処遇改善について今後の展望は



質問動画はこちらから

答

正規職員の採用を増やし、ニーズに合った配置基準を考え、環境整備に取り組む

問 未満児保育受け入れの実態は。

教育長 未満児の入園希望者は高止まりであり、受け入れ希望に十分に答えられていない。

問 保育士不足解消と就労環境改善の取り組みと展望は。

教育長 正規職員を増やすことや就労環境を整え、当市のニーズに合った配置基準を考える。

問 医療的・発達特性ケア児への進級進学の方針説明を早めにする必要は。

教育長 就学前から学校・医療関係者と保護者で支援会議を行い、早めにと心掛けている。

問 中学入学時に必要な費用は。

教育長 教材費を除いての費用は約7万円程度。

問 中学の入学かばんを公費負担にする考えは。

市長 学校やPTAの皆さんの意見を参考に今後検討していく。

問 乗り物体験イベントにおいて、自衛隊車両展示に至った経緯は。

市長 多くの方に参加していただくため、公共目的に使用されている乗り物も紹介した。

問 自衛隊に対して18歳、22歳の名簿を閲覧の方法に戻せないか。

市長 個人情報保護を最優先、法律を遵守し、紙媒体による名簿提供を続ける。

質問後の感想

多くの方が傍聴に訪れていただき、ありがとうございました。緊張感と責任を持って質問することができます。市民の声の代弁者として、自身もより資質向上に努めなければと感じます。



乗り物体験イベントでの展示



池田 幸代 議員

問

認知症高齢者や孤立した人の福祉と野良猫増を防ぐための複合的方策は



質問動画はこちらから

答

人には重層的支援体制整備事業を活用し、猫の不妊手術費用補助を創設したい

問 屋外の猫に餌やりをする人の中には認知症高齢者や社会的孤立の人もある。放置すると多頭飼育崩壊又は野良猫の増加につながる。重層的支援体制整備事業による人の福祉と、不妊手術による地域猫活動で猫の福祉を同時に進めては。

市長 既に複数の相談が寄せられ、必要な場合は重層的支援体制整備事業でサポート。猫の不妊手術は現行の補助事業終了時点から、切れ目ない市の補助金を検討する。

問 非正規雇用保育士の増加、未満児の増加や加配の必要な子どもの増加などにより、現行の配置基準では保育士の疲弊及び離職が懸念

される。保育現場崩壊にならぬよう保育士の人材確保策は。

市長 保育士の正規職員増は課題解決に有効。前向きに検討する。

問 幼児教育アドバイザーが保育ソーシャルワーカー的に保護者との関係調整を担ってはどうか。

教育長 アドバイザーにはその役割を担ってもらいたい。

問 不登校児童居場所作り支援は。

教育長 新たに赤穂南小学校併設のこども交流センターで週1回「みなみい〜ね」が開設。中間教室は「教育支援センター」であり、学校との連携や保護者支援を行う。女性職員も含め対応できるよう準備する。

質問後の感想

今回の質問は市内で起きている具体的な困りごとを政策的にいかに関解決するかを主軸に置いた。全国どこでも起きている担い手不足と居場所不足の解消及び政策横断的な連携を目指した。



猫の多頭飼育崩壊の現場



小原 晃一 議員

問

今回、教育委員会と連携して「総合教育会議」を開催しなかった理由は何か



質問動画はこちらから

答

生命・身体に被害が生じるといった緊急の場合ではないと判断した

問 赤穂保育園の事案は、児童の身体に被害が生じる恐れのある事案と認識するが、市長が市教育委員会(市教委)を招集して『総合教育会議』を開催しなかった理由は何か。

市長 当初から市教委が対応しており弁護士とも相談していた。生命・身体に被害が生じるといった緊急の場合ではないと判断した。

問 この機会に『市独自の不適切な保育対応のフローチャートやガイドライン』の作成を行うべきでは。

教育長 現時点では独自のフローチャートやガイドラインを新たに作成する必要はないが、気づきを促す取り組みを進めたい。

問 『地方教育行政の組織及び運営に関する法律』に「毎年、事務管理や執行の状況について点検・評価を行い、報告書を作成し議会に提出しなければならない」とあるが実績は。

教育長 決算時に議会へ提出している成果説明書とその付属資料で事務の管理及び執行状況の点検・評価としている。

問 市民活動総合補償制度の補償対象に「市道の草刈りなど個人の公益的な活動」を検討する考えは。

市長 原則、団体などの活動が対象。事前に登録し、期間内の作業であれば給付対象ともなる。手続きを検討し、区長会を通じ制度の啓発をする。

質問後の感想

①今回の保育園の事案は、市長と市教委で連携して『子育て全力応援』の姿を市民に示せず誠に残念です。
②教育行政の事務や執行状況を点検・評価し『報告書』を議会に毎年提出しているとは理解し難い。



子ども第一とは？子ども中心とは？



竹村 知子 議員

問 犯罪被害者等支援条例の制定の考えは



質問動画はこちらから

答 先進地の状況を参考に、今年度中の条例制定に向けて手続きを進める

問 「犯罪被害者等支援条例」は犯罪に巻き込まれた人や遺族らの支援について定めている。犯罪被害者等支援条例の制定の考えは。

市長 先進地の状況を参考に内容を検討し、犯罪被害者に必要な支援を行えるよう今年度中の条例制定に向けて手続きを進めていく。

問 地域包括支援センター職員・ケアマネ・ヘルパーなど介護職不足の状況である。人材確保の取り組みは。

市長 地域包括支援センター職員の増員、ケアマネの受講費用補助、介護の入門的研修、職場体験・職業紹介など一体的な事業を実施する。

問 子どもの権利を明記し、子ども

にとって最も良いことは何かを第一に考える「子どもの権利に関する条例」制定の考えは。スクールロイヤー制度の活用は。

教育長 子どもの権利条例の制定は考えていない。「アルプスに響くこまがね子育て5つのみちしるべ」の普及を図る。スクールロイヤー制度を利用された自治体に情報を確認しながら活用を検討する。

問 おくやみ窓口の設置、または書かない窓口などDX活用の考えは。

市長 令和7年度末に自治体情報システムが標準化・共通化される予定。そのタイミングに合わせ、書かない窓口の実現に取り組む。

質問後の感想

条例制定を求める提案質問は、今年度中に制定を進めるとの答弁だったのでうれしかった。いかに聞きやすくわかりやすい質問ができるか調査し原稿を考えるが、もっと精度を高める必要があると感じる。



あなたに寄り添ってくれる相談窓口



押田 慶一 議員

問 現在観光協会の会長は伊藤市長だが、観光施策に精通した人材を充てる考えは



質問動画はこちらから

答 会長には観光だけではなく、幅広い視点を持った方が相応しいと考えている

問 これからの観光施策は広域連携が必要だが、サイクルツーリズムで長野伊那谷観光局との連携は。

市長 引き続き、県・長野伊那谷観光局、南信州・木曽地域と連携する。

問 駒ヶ根高原の歓迎・案内看板を増設、整備する考えは。

市長 関係各所と連携し取り組む。

問 ホテル・旅館での夕食ニーズが多様となる中、泊食分離によるまちなか飲食店への送迎などの考えは。

市長 実態を把握し、課題解決に向けタクシー事業者などと研究する。

問 宿泊施設の人手不足の対応は。

市長 商工会議所や早太郎温泉事業協同組合などと連携し取り組む。

問 観光振興財源、宿泊税の考えは。

市長 今後観光事業者の意向も把握し、県と連携して進めていく。

問 昨年12月に一般質問した親子ワーケーションの進捗状況は。

市長 メニュー化も検討したが参加見込みが立たないため一旦白紙。

問 空き家対策の補助金制度や法改正の周知を強化する考えは。

市長 今後も空き家の課題は地域の皆さんとともに取り組んでいく

問 管理不全空き家の対策は空き家の未然防止になるが、行政がしっかり指導する体制は整っているか。

市長 設置されている空き家等対策協議会や地域と連携して進める。

質問後の感想

今回は主に観光施策の質問をした。素晴らしい観光資源が多くあるが課題も多く、解決が急がれるものもある。それだけ伸びしろがある駒ヶ根なので、どう生かしていくかが今後の課題である。



歓迎の看板は観光地の顔ですが…



中島 和彦 議員

問

「駒ヶ根市2050カーボンニュートラル宣言」現在の状況について



質問動画はこちらから

答

市民・事業者の皆さまへの啓発や周知を引き続き進めていく

問 持続可能な地域にするためにも、気候変動対策は急務と考える。令和5年に「2050カーボンニュートラル宣言」をしたが、詳細は。

市長 市民の皆さまへの省エネ意識の向上、再エネの導入促進などに関する啓発周知、また、「えがおポイント」のエコ事業を中心に重ねてきており、事業の認知度は上がってきていると考える。

問 「えがおポイント」事業の実績と状況は。

市長 発行件数は、令和3年度から5年度にかけて47件、82件、118件と年々増加している。

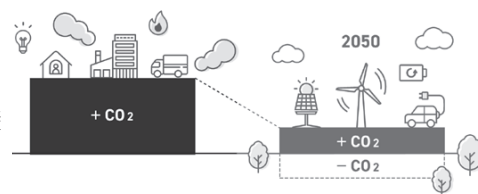
問 7月発行される「新紙幣」の発

行後の両替機・券売機などの対応は。また、新1万円札に描かれる渋沢栄一は駒ヶ根市出身の天下の糸平こと「田中平八」と一緒に東京株式取引所を設立した。これを機に、郷土の偉人をさらに知っていただく機会と捉えるが、考えは。

市長 市の関係する設備のうち、2台は対応完了。1台は現在手配中。「田中平八」については、糸平フェスティバルとして、糸平ゆかりの地を巡る日帰りバスツアーを計画。駒ヶ根市出身で日本の近代経済の基礎を成した偉人を学び、地域に関心と誇りを持っていただけるよう、引き続き取り組む。

質問後の感想

温室効果ガスは目に見えません。どのくらい排出され、吸収されているのか、一人一人が意識することで、子どもたちの未来が、安全に住みよいまちになりますよう、今後も市の取り組みを確認していきます。



排出を全体として「ゼロ」に



中山 万宝 議員

問

病弱・身体虚弱特別支援学級の現在の体制整備の状況は



質問動画はこちらから

答

看護師の不足が挙げられる。対策しているが難しく期限は申し上げられない

問 新しい特別支援学級設置で看護師不足対応と現場との連携方法は。特に看護師不足は現場において重大な問題になっている。

教育長 看護師不足は継続して募集活動をしているが、具体的な日程提示ができない。不測時対応は保護者と相談し自宅待機などで対処。処遇改善も引き続き検討していく。

問 新事業は、情報の共有化と意思疎通が重要になる。現場は保護者に対して説明責任が生じてくるが、具体的にどう行っているのか。

教育長 定期的な会議と要請があれば現場に行き対応している。

問 こども家庭センターについての

対応状況、看板設置や周知は。

教育長 子ども課設置で機能を果たしている。7月中旬に木製看板を準備。センター設置は市報へ掲載した。

問 地域おこし協力隊員の活動は3年間と短い。「駒ヶ根が好きで選んだ、定住ができればうれしい」との言葉を大切にに取り組んでいただきたい。現状業務と定住支援状況は。

市長 ミッションに関しては各担当課、総合窓口を企画振興課が担当。隊員がのびのび活動できるよう寄り添っている。生活・労働環境に配慮し、定住に向け住宅確保や仕事などについて相談対応している。活動成果として報告会を開催している。

質問後の感想

一括で多くの質問をするのではなく目的別にまとめてすべきだった。この方法でより内容が充実すると思った。次回はより深く問題を追及し改善に努めたい。(先輩議員のアドバイスより)



駒ヶ根が好き、定住できれば



今堀 雷三 議員

問

徒歩で国スポ観戦へ行く市民が、安心して会場へ行けるよう歩道整備の予定は

答

歩道整備は難しいが、警備員の配置とグリーンベルトの設置を計画している



質問動画はこちらから

問 令和 10 年(2028 年)馬住ヶ原運動場で国スポのホッケー大会が開催されるが、市道馬住ヶ原線の一部に歩道がない。安心して会場まで行けるよう歩道整備の計画は。

市長 歩道整備は難しいが、大会期間中は警備員を配置する。また、歩道のない区間についてはグリーンベルトの設置を計画している。

問 駒ヶ根市交流促進センター「こまくさの湯」の利用料について市民の皆さんが気軽に利用できるようワンコイン(500 円)にならないか。

市長 燃料高騰、老朽化による修繕費が増加する中、市が指定管理料を増額する必要がある、現時点では

難しい。現在「こぶしの湯」も使える 5,000 円 10 枚綴りの回数券を販売中であり、ぜひ利用してほしい。

問 駒ヶ池周辺の樹木が大きくなり中央アルプスの景観を阻害している。伐採の計画は。

市長 今年度駒ヶ池の管理者である大田切土地改良区がしゅんせつ工事を計画。作業に合わせ、池と遊歩道の間の樹木伐採を計画。

問 昨年 6 月議会で質問した亀沢井の管理者などとの協議の進捗は。

市長 これまで 2 度協議を行った。洗堀部分には玉石を設置する応急対応をし、越流箇所は民地への水の流入を防ぐ側溝工事を行う。

質問後の感想

前半は緊張感でフラフラ。ですが後半はノリノリで質問できました。与えられた 30 分の質問時間を有意義に使えるかが今までの課題でしたが、今回 25 分だったので及第点?これからも精進して参ります。



歩道が途切れている馬住ヶ原線



福澤 美香 議員

問

基本構想案は市民の意見があまり反映されておらず規模感が合っていないのでは

答

各関係者から聞き取り調査をして分析した資料で、検討材料としては十分な内容



質問動画はこちらから

問 竜東振興拠点施設整備事業の基本構想についての報告書に地元の意見があまり反映されておらず、規模感が合っていない。報告書作成を委託した業者と十分に協議できていたのか。

市長 あくまでたたき台として関係部署・団体と作り上げた報告書。これから事業を進める検討材料として十分な内容であり、より良い計画を作っていく。

問 地元住民向け説明会では業者へ責任転嫁したような回答ばかりだった。ありがちなコンセプトではなく、市長としてどのような施設にしたいのか。

市長 豊かな景観で眺望を生かし、きのこと類など竜東の農産物を前面に押し出した、物流や公共交通の結節点としての役割を持つ施設を目指していきたい。

問 新設後の加工所があまり活用されない結論が出た場合の計画は。

市長 新施設へ期待する声もあり農業振興に欠かせない。市内全域から利用してもらえる施設にしたい。

問 今の基本構想では精度が低い。次の基本設計に移る前に修正する考えはあるか。

市長 十分な内容で作り直す予定はないがこれで決定ではない。皆さんの意見を伺って業者へ委託する。

質問後の感想

業務委託が悪いのではなく、結果が費用に見合わない事案が多いと感じる。竜東開発も加工所も計画を否定しているわけではない。現状の問題と今後の課題を正確に把握し、地元に求められる施設建設を望む。



竜東振興拠点施設予定地完成予想図



氣賀澤葉子 議員

問

発達に特性のある子どもなどの成長を記録するツール「結 ing」を一生使うには

答

周りの人に知ってもらふ重要資料であると伝え、幅広く使用してもらいたい



質問動画はこちらから

問 「5歳児健診」を「5歳児すこやか園訪問」に変更した成果は。

教育長 慣れた園での様子を確認できる。巡回相談に誘いたいお子さんが優先して早く相談につながる。園訪問の専門職と保育士が子どもの情報を共有しやすい。の3点。

問 園訪問での様子を踏まえた巡回相談という構えてしまい、本来の目的の理解がまだ不十分では。

教育長 お子さんの成長や伸ばしたい力を確認し、特性に合わせた支援につなげるという目的を伝える保護者向け学習機会も検討する。

問 「結 ing」を中学校入学時や就職時にも活用するため、同じ情報を

子ども課でも保管できないか。

教育長 子ども課には相談や検査時に支援に関する記録が保存蓄積されている。「結 ing」は一生活用でき、自立のための補助資料として本人などの管理をお願いしている。

問 テレワークオフィス Koto 2階の2区画分は、現在空室である。戦略を練り直す必要があるのでは。

市長 コロナ禍が明け、オフィス需要は曲がり角に来ている。ニーズ調査を踏まえ誘致の取り組みを継続。

問 1階テレワークセンターのスペース利用を再検討しては。

市長 一等地であり、どう生かすか関係する方と検討を進める。

質問後の感想

答弁にスピード感を感じられなかったのは残念。議会全体としては、これまで何人もの議員が重ねて質問してきたことが少しずつ認められてきており評価できる。これからもチーム議会として取り組みたい。



情報共有ツールファイル「結 ing」



藤井 邦彦 議員

問

仕事などに使える個室や周辺機器も備えたコワーキングスペースを新設する考えは

答

これは非常に大きなチャレンジでさまざまなアイデアをぶつけながら検討する



質問動画はこちらから

問 高校生などがグループでも個人でも快適に学習できる公共の場が必要だと考えるが市の見解は。

市長 若い世代が学習などで集まるスペースは仲間づくりやコミュニケーションを図る場として有効で、引き続き研究していきたい。

問 テレワークやスモールビジネスなどにも使える個室も備えたコワーキングスペース新設の考えは。

市長 テレワーク、コワーキングスペースをどう位置付け活用していくか、これは非常に大きなチャレンジでさまざまなアイデアをぶつけながら検討をしていきたい。

問 未婚率上昇の一因と考えられ

る不安を解消するため、市は今後どのような施策が必要と考えるか。

市長 若者、子育て世代のニーズ把握に努め、各種データを分析しながら、結婚・出産・子育ての効果的な対策を検討し、施策充実に取り組む。

問 高速道路や国道・県道・駅への「早太郎温泉郷」看板新設と駒ヶ根インターバス停周辺整備の考えは。

市長 看板などについては県や中日本高速道路などと改善が可能な検討。インター内バス停の案内表示や夜間対応などは中日本高速道路と協議を進め改善をお願いしている。インター外バス停は周辺も含め市の地域公共交通計画で検討する。

質問後の感想

今回質問した学習室やコワーキングスペース、昨年質問した不登校やひきこもりのお子さんや若者の居場所など、多様な居場所づくりは時代の要請です。これからも実現に向け取り組んでまいります。



コワーキングスペースの整備が必要

赤穂南小学校6年生が議場見学

令和6年6月3日(月)

赤穂南小学校6年生66人は、授業を通じ、市役所や市議会の役割などについて学習を重ねてきました。

今回、議員に向けてさまざまな提案をいただきましたので、ご紹介します。

ホームページでもご紹介しています。
こちらからご覧ください。



スポーツ・音楽に関する提案

内 容	発表者
スポーツが盛んになるようなイベントをしてほしい	小林優真さん 小椋大翔さん
サッカー場やジョギングコースを作してほしい	北原蒼士さん
音楽に親しめる市であることを続けてほしい	池上徹平さん

子どもが楽しめる場所を充実させてほしい

内 容	発表者
雨の日の遊び場があったらうれしい	中村凧さん 氣質澤美羽さん 坂本侑桂さん
雨の日に遊べるところがほしい	中山那智さん
子どもが入れるお店(駄菓子屋)があったらいいな	野近遼さん
公園の遊具を高学年も楽しめるものに	田畑仁那さん 根本杏寧さん
図書館を更に楽しく	松村芽希さん 塩澤もも香さん

ちょっと困っています

内 容	発表者
街灯を増やしてほしい	溝口結花さん、松尾彩春さん
道のゴミ、公園のトイレをきれいに	太田信志さん
ゴミ問題	宮澤弦さん
道路にまつわるお願い	川合莉桜さん、森奏人さん
道路のでこぼこを直してほしい	溝口和湖さん

みんなに優しい駒ヶ根市になるために

内 容	発表者
JICAの活動を続けてほしい	田畑陽菜さん
観光客のためのイベントがあればいいな	小岩井晴陽さん 大澤柊介さん
お祭りやイベントを増やして	早出直生さん
障がいを持つ人もそうでない人も住みやすい市に	平林彩花さん 酒井菜月さん



赤穂東小学校6年生が議場見学

令和6年6月14日(金)

赤穂東小学校6年生71人が議場見学到訪しました。子どもたちは、駒ヶ根市や市議会についてのクイズに挑戦。答え合わせをしながら市役所や市議会の仕事について学習しました。また、実際に、議長席や議席などに座って議場の雰囲気を感じました。



議員にヒントをもらいながら
クイズに挑戦



「公園にはどんな遊具がほしいですか」という
議員からの質問にたくさんの児童が
手を挙げて答えてくれました

市議会では、議会の仕組みなどを知っていただくため、議場見学を行っています。学校はもちろん、自治会や団体の皆さんもOKです。お気軽に議会事務局までお問い合わせください。



竹村知子
ワクワク未来部会長



行政視察報告

市政の発展や課題の解決に活かすため、委員会の活動として、先進自治体等の事例について調査・研究する行政視察を行っています。

広報広聴委員会

日程 令和6年4月30日～5月1日
視察者 宮下稔、今堀雷三、竹上陽子、小原晃一、押田慶一、
藤井邦彦、中山万宝、竹村知子、小原茂幸

① 寄居町議会の広報広聴の取り組みについて (埼玉県大里郡寄居町)

「読まれない議会だよりに出す意味なし!」を編集方針に、日本一オーディエンスの多い議会だよりを目指し、議員・事務局・制作業者が一体となり取り組んでいます。

議員自ら町民を取材し、2015年から「KOE METER(声メーター)」として、取材した町民数を議会だよりに掲載しています。(2024年2月現在で857人の町民が誌面に登場)

宮下稔
広報広聴
委員長



伝えたいことではなく、住民が知りたいことに重点を置いているところに共感!議員が自ら動き、住民の声を聴き、それを議会だよりに生かしていることが素晴らしいと感じました。



寄居町議会だより
「お元気ですか 寄居議会です」

寄居町議会
ホームページ



② 開成町議会の広報広聴の取り組みについて (神奈川県足柄上郡開成町)

「読む」から「見る＝魅せる」を基本に、広報誌とWebの両輪で広報改革を実践しています。議会だよりは「まずは手に取ってもらう」ことを信念にA4サイズからタブロイド判に仕様変更しています。

また、議会ホームページを斬新にデザインし、議員が動き出す紹介ムービーや一般質問を短編動画で紹介するなど、動画を積極的に取り入れています。

今堀雷三
広報広聴
副委員長



タブロイド版の議会だよりは、とてもインパクトがあり思わず手に取ってしまう!内容がコンパクトにまとめられており、ウェブサイトへの誘導で、誌面とWebが両輪となり、幅広い世代に関心を持ってもらえる取り組みだと感じました。



開成町議会ホームページ

開成町議会
ホームページ



意見交換会報告

市に対する政策提言・政策立案につなげることを目的に、市民(団体)の皆さまとの意見交換を行っています。



早太郎温泉事業協同組合の 皆さまとの意見交換

令和6年5月14日(火)

駒ヶ根市観光(早太郎温泉郷)の現状と課題をテーマに、駒ヶ根高原のホテル・旅館・日帰り温泉施設で構成する早太郎温泉事業協同組合の皆さまと意見交換を行いました。

コロナ禍からコロナ明けの比較と状況などをはじめ、インバウンド、冬季の誘客、雇用状況、湯量の状況など、多くのご意見をいただきました。

いただいたご意見については、常任委員会で調査・研究を行い、必要に応じて市へ提言していきます。(当日のご意見については後日ホームページに掲載する予定です。)





ツキニミーティングはじめました

予算の事前検証や決算の事後検証に向けて、市が実施している施策の現在地(現状・課題・方向性など)を横断的に把握しようと、今年度より、「ツキニミーティング(通称:ツキニ)」をはじめました。議員間での対話機会を増やすことも目的のひとつで、常任委員会ごと月2回を目標に実施しています。

市役所以外の場所で実施すること、服装は自由、発言者の話はしっかり聴く、相手を侮辱する発言・感情的な発言・否定する発言はしない、相手の立場に立ちそれぞれの考えを理解した上で発言する、沈黙歓迎、結論が出なくてもOKなどなど、独自ルールのもとに、「まずはやってみよう!」の精神で実践しています。



総務産業委員会
(市内飲食店にて)

教育民生建設委員会
(ぱとなにて)



竹上陽子
広報広聴委員

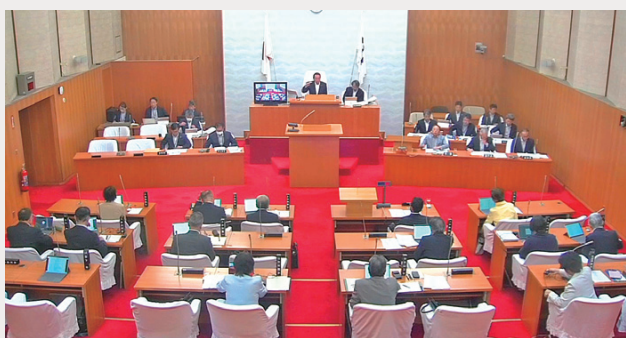


月2回を目標に市内のさまざまな場所で開催していますので、見かけた方はぜひお声がけください!



本会議の傍聴

誰でも傍聴可能です。開催日当日、市役所3階議場前にて受付してください。



メール・LINE配信

議会日程や一般質問録画配信などの情報をメール及びLINEで配信します。

駒ヶ根市メール配信サービスの登録はこちらから



駒ヶ根市LINEサービスの登録はこちらから



編集後記

最近の選挙での投票率低下、また議員のなり手不足が社会問題となっています。駒ヶ根市議会では「開かれた議会」を目指し、主権者教育の一環として赤穂南小・東小6年生の議場見学を開催しました。初めて入る議場にチョッと緊張気味でしたが、児童は一生懸命質問し、議員もそれに応えるよう真剣に答弁しました。

議会開催時の議場は、厳粛な雰囲気の中で進行されますが、この日だけは賑やかでとても活気のある議場となりました。

議場一杯の笑顔は私たち議員の励みになります。児童の気持ちのこもった意見・提案をしっかり受け止め、将来の世代のために、住みよいまちづくりに取り組み、議会としての役割をしっかりと果たしていくことを改めて感じました。
(押田慶一)

広報広聴委員会

委員長	宮下	稔
副委員長	今堀	雷三
委員	竹上	陽子
委員	小原	晃一
委員	押田	慶一
委員	藤井	邦彦
委員	中山	万宝
委員	竹村	知子

発行/駒ヶ根市議会 発行日/令和6年7月20日 編集/広報広聴委員会

〒399-4192 長野県駒ヶ根市赤須町20番1号 TEL.0265-81-6191(直通) <http://www.city.komagane.nagano.jp/>